

地域づくりネットワーク福岡県協議会 令和元年度福岡ブロック会議 実施報告

- 開催日時 令和元年10月13日（日）13時00分～18時00分
- 会場 古賀市商工会館
- 参加者 16団体 22名

1 昨年度の活動報告について

事務局より、平成30年度福岡ブロック会議の報告を行いました。

2 事例報告

- 報告者 ・前古賀市長 中村 隆象 氏
・(株)ニッセイ基礎研究所 芸術プロジェクト室 大澤 寅雄 氏

前古賀市長の中村氏に、「古賀市の目指した文化のまちづくり」と題してご報告いただきました。

市長時代、町にアートがあることで、まちの活性化や犯罪の抑止、学力の向上につながると考え、古賀市アートタウン構想を推進されたこと、現在は、段階的に完成するアートウォールを作成しており、ボランティアとして古賀市のアートウォール推進に関わっていらっしゃるということについて、お話いただきました。



また、(株)ニッセイ基礎研究所の大澤氏に、「糸島国際芸術祭“糸島芸農”から見るまちづくりについて」と題してご報告いただきました。※台風の影響によりモニター出演

糸島芸農は2年に1回開催しており、イベントを継続させるため補助金等は活用せず、全ての支出をイベント収入で賄っていること、捨てられるおもちゃを素材にして作品を作る等、身の回りのものからアートを見て感じて楽しいと思ってもらえるような活動を実施していることについて、お話いただきました。



3 地域づくり団体の活動現地視察

古賀駅内にある駅前美術館や市と文化協会が共催しているイベント「古賀市芸術文化の祭典」等の視察を行いました。

現地視察の様子

古賀市内の小中学校の生徒の絵などを展示している、古賀駅内の駅前美術館を見学しました。



「古賀市芸術文化の祭典」の主催者である、古賀市文化協会の柴田事務局長より、当展示内容や古賀市における地域の活動の説明をいただきました。参加者の皆さんは、陶芸や写真、絵画、押し花アート等、素敵な作品の展示に見入っていました。



4 基調講演「企業が創る地域文化～芸術文化と地域創造経済～」

講演者 ・ 公益社団法人企業メセナ協議会 専務理事 加藤 種男 氏

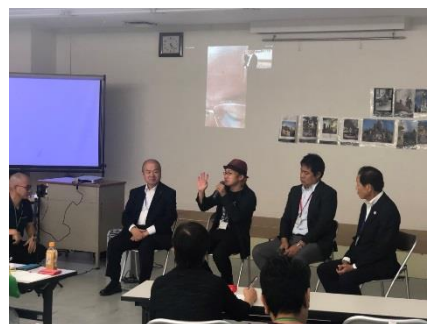
公益社団法人企業メセナ協議会の加藤専務理事に、「企業が創る地域文化～芸術文化と地域創造経済～」と題して御講演いただきました。※台風の影響によりモニター出演。

ご自身が事務局長をされているアサヒビール芸術文化財団では、ビールの形をした特徴的なビルを建設し、周りの景観と合わせて地域のシンボルになっていること、企業がアートプロジェクトを実施することにより、地域に世界の若者をひきつけたり、地域内経済の循環にもつながったりすること等についてご説明いただきました。



5 パネルディスカッション「今後の活動について」

- パネリスト ・ 前古賀市長 中村 隆象 氏
・ 公益社団法人ながさき地域政策研究所
理事長 菊森 淳文 氏
・ (株)BOOK 樋口 聖典 氏
・ いるかねっと 田口 吾郎 氏



<パネリスト意見>

どんどん挑戦してみたい(中村氏)

今後もアートウォールの活動を続けたい。誰に活動を繋いでいくかはまだ考えており、皆さんからご紹介してほしいと思っている。今後は攻める絵に挑戦してみたい。

町みんなに参加してもらっている(田口氏)

自身の活動では、プロジェクトごとに実行委員会を作っている。町みんなに参加してもらうことで、継続的な活動につながっている。

価値観の違いを埋めることが大事(樋口氏)

年齢が違っても価値観の違いが出来てしまうため、若者の声を聴いて噛み砕いて発信するようにしている。やりたいという芽をつぶさないようにすることが大事。

キーパーソンが成功のカギ(菊森氏)

地域を担ってくれるキーパーソンをどう発掘して育てていくのが大事で、キーパーソンがいるかどうかで成功するかどうかが決まる。世界遺産や重要文化財も“保存”だけでなく、価値を伝える“活用”が重要。お金を稼ぐことにもつながるので、民間が担っていきべきだと考えている。